

2019年3月期 決算概要

掲載する情報に関しまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料に掲載する情報は、**無断での引用や転載、複製は禁じられております。**

決算概要 (2019年3月期 実績)

単位: 百万円	通期 実績							通期 計画		
	2018年3月期		2019年3月期					2019年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	増減	前年比	数量	計画	構成比	計画比
トレー	29,964	17.3	33,121	18.3	+3,156	110.5%	104.6%	31,570	17.6	104.9%
弁当・惣菜	96,287	55.5	101,108	55.8	+4,820	105.0%	101.9%	100,670	56.2	100.4%
小計	126,252	72.7	134,229	74.1	+7,976	106.3%	102.8%	132,240	73.9	101.5%
その他製品	3,314	1.9	3,350	1.8	+35	101.1%		3,410	1.9	98.2%
製品売上高	129,566	74.6	137,579	75.9	+8,012	106.2%		135,650	75.8	101.4%
包装資材	37,293	21.5	36,823	20.3	△469	98.7%		39,120	21.9	94.1%
その他商品	6,720	3.9	6,768	3.7	+48	100.7%		4,230	2.4	160.0%
商品売上高	44,014	25.4	43,592	24.1	△421	99.0%		43,350	24.2	100.6%
売上高	173,580	100.0	181,171	100.0	+7,591	104.4%		179,000	100.0	101.2%
営業利益	12,884	7.4	13,949	7.7	+1,064	108.3%		14,300	8.0	97.5%
経常利益	13,548	7.8	14,861	8.2	+1,312	109.7%		14,800	8.3	100.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	9,178	5.3	9,901	5.5	+723	107.9%		9,900	5.5	100.0%

- 過去最高
- ✓ 売上高 9期連続 過去最高更新
- ✓ 経常利益 2期ぶり増益

営業利益
西日本豪雨災害に伴う物流コスト増加等により計画未達

経常利益
原価・販管費で負担したコストに対応する営業外収益を計上、計画達成

- ・生産設備補償金
- ・設備投資補助金
- ・受取保険金

償却前経常利益 25,255 28,031 +2,775 111.0% 28,200 99.4%

■ 販売

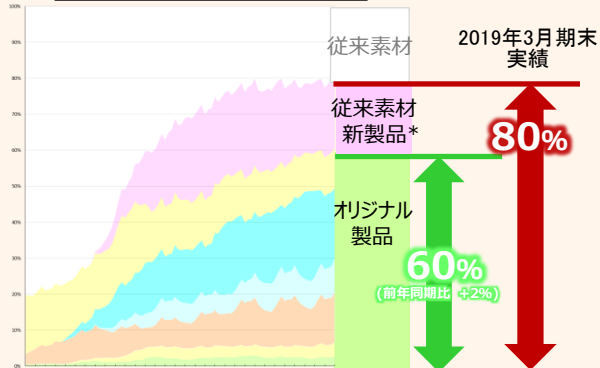
製品>

- ・電子レンジ対応製品・エコ製品の販売が好調
- ・人手不足対応など、高付加価値製品の拡充

商品>

- ・MD商品の拡大強化
- ・不採算取引の見直し

◇製品売上構成比 推移



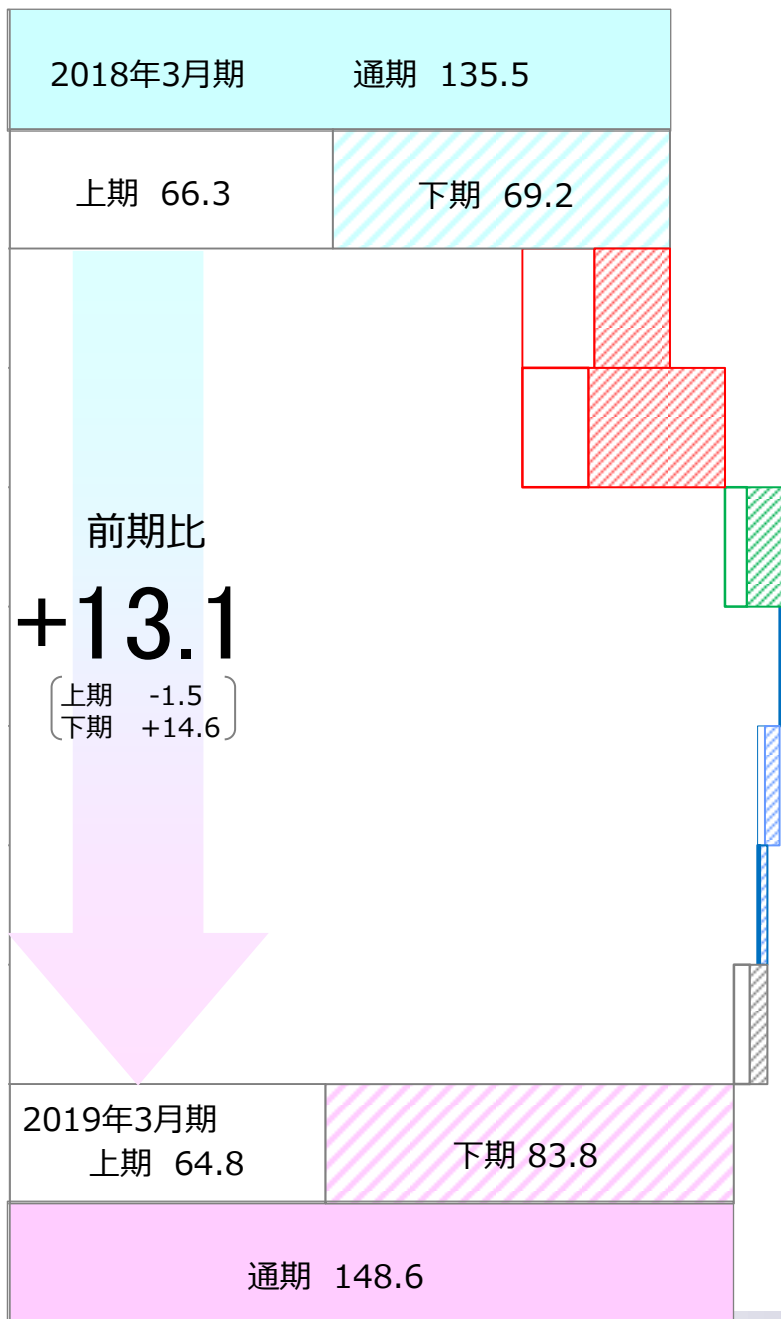
◇実績前年比

	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	通期 実績	通期 期初計画
製品売上高	105.4%	106.4%	108.5%	104.0%	106.2%	104.7%
製品枚数	103.9%	102.2%	104.1%	100.6%	102.8%	104.0%
経常利益	86.7%	106.8%	111.6%	146.1%	109.7%	109.2%

経常利益 利益増減 実績 (2019年3月期)

単位：億円

上期	下期
----	----



実績

原料価格	-30.3	} +11.3
<small>(上期 -14.8、下期 -15.5) (1Q -6.8、2Q -8.0、3Q -9.0、4Q -6.5)</small>		
販売価格	+41.6	}
<small>(上期 +13.6、下期 +28.0) (1Q +1.3、2Q +12.3、3Q +14.5、4Q +13.5)</small>		
販売活動	+11.7	}
<small>(上期 +4.5、下期 +7.2) (1Q +3.8、2Q +0.7、3Q +4.4、4Q +2.8)</small>		
生産	-0.5	} -3.0
<small>(上期 -0.5、下期 ±0.0) (1Q -0.2、2Q -0.3、3Q ±0.0、4Q ±0.0)</small>		
物流	-4.5	}
<small>(上期 -1.5、下期 -3.0) (1Q ±0.0、2Q -1.5、3Q -2.0、4Q -1.0)</small>		
グループ会社	+2.0	}
<small>(上期 +0.5、下期 +1.5) (1Q -0.2、2Q +0.7、3Q +0.3、4Q +1.2)</small>		
経費増減	-6.9	}
<small>(上期 -3.3、下期 -3.6) (1Q -1.8、2Q -1.5、3Q -2.4、4Q -1.2)</small>		
合計	+13.1	
<small>(上期 -1.5、下期 +14.6) (1Q -3.9、2Q +2.4、3Q +5.8、4Q +8.8)</small>		

改善効果	+24.8
人件費・労務費	-4.0
減価償却費	-14.0
電力料	-5.8
運送費	-4.0
人件費	-1.9
減価償却費	-0.6
その他	-4.4

見通しとの差異			
2/5時点見直し	差異	期初計画	差異
-30.3	±0.0	-26.0	-4.3
+41.6	±0.0	+38.0	+3.6
+12.7	-1.0	+10.0	+1.7
-0.5	±0.0	-2.0	+1.5
-4.5	±0.0	-1.0	-3.5
+1.0	+1.0	+1.0	+1.0
-7.5	+0.6	-7.5	+0.6
+12.5	+0.6	+12.5	+0.6

設備投資・研究開発費

(2019年3月期 実績)

単位:百万円	通期 実績				通期 計画	
	2018年3月期 実績	2019年3月期			2019年3月期	
		実績	増減	前年比	計画	計画比
有形固定資産	29,342	13,442	△15,899	45.8%	17,950	74.9%
無形固定資産	549	595	+45	108.3%	350	170.1%
設備投資	29,891	14,038	△15,853	47.0%	18,300	76.7%
減価償却費	11,706	13,170	+1,463	112.5%	13,400	98.3%
研究開発費	1,197	1,159	△37	96.8%	1,220	95.0%

【主な設備投資】

単位:百万円 投資総額 2019年3月期
通期計画 通期実績 主な差異

世界初のオリジナル製品生産に対する投資

◆ OPET製造設備のエコ化		350	320	
◆ エコAPET生産工場(筑西)	4,000	1,260	0	△ 1,260

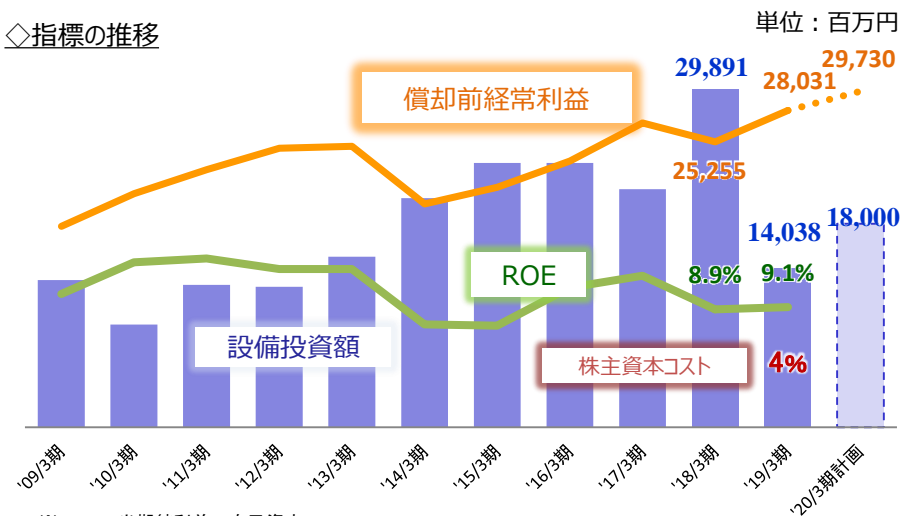
販売量拡大に対する投資

◆ 自動化設備の導入		570	401		
◆ グループ会社拠点の整備・増強					
フィルム印刷工場	2018年 3月 完成	4,750	2,020	1,982	
リサイクルペレット増産設備			1,240	691	△ 549
広島事務所兼倉庫	2018年 10月 完成	1,450	950	951	
エフピコインターバック物流倉庫	2018年 11月 完成	790	680	681	
	本社 2019年 3月 完成	920	880	879	
◆ 金型		2,210	1,462	△ 748	
◆ IT投資		510	559		

⇒業界での圧倒的な優位性

高付加価値製品と物流インフラによる収益確保

◇指標の推移



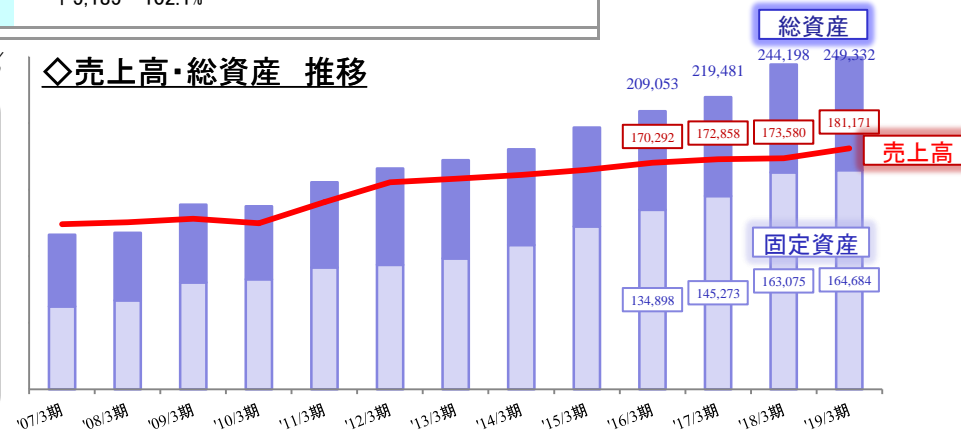
貸借対照表 (2019年3月期 実績)

単位: 百万円	前連結会計年度	当連結会計年度			
	2018年3月期 2018/3/31	2019/3/31	増減	前年比	主な増減内訳
流動資産	79,395	84,647	+5,252	106.6%	現金及び預金 +3,492 受取手形及び売掛金 +1,025 商品及び製品 +858
固定資産	164,751	164,684	△67	100.0%	
資産合計	244,147	249,332	+5,185	102.1%	
流動負債	77,174	76,854	△320	99.6%	短期借入金 +1,287 未払法人税等 +1,341 未払金 △4,292 未払消費税等 +1,833
固定負債	60,752	60,279	△473	99.2%	退職給付に係る負債 +1,062 リース債務 △1,639
負債合計	137,927	137,133	△794	99.4%	
純資産合計	106,219	112,198	+5,979	105.6%	利益剰余金 +6,552
負債純資産合計	244,147	249,332	+5,185	102.1%	

自己資本比率 44.8%

- 資産 オリジナル製品の能力増強と安定供給への戦略投資
- 負債 戦略投資の原資として借入金の活用
- 純資産 経営体質の充実強化
事業拡大に向けた機動的な対応への備え

◇売上高・総資産 推移



キャッシュ・フロー (2019年3月期 実績)

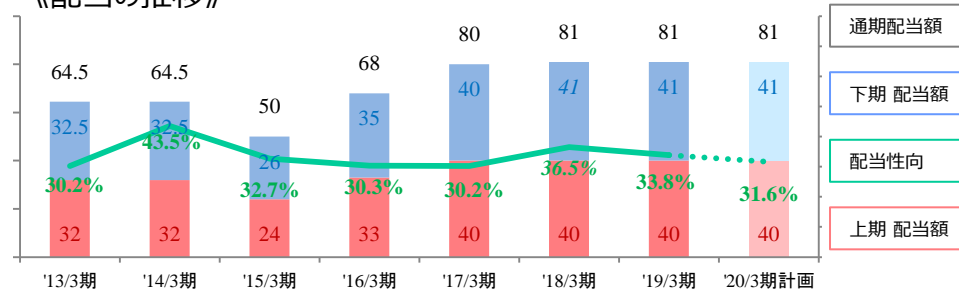
単位: 百万円	通期	
	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績
営業活動によるC/F	13,974	25,510
投資活動によるC/F	△ 23,656	△ 17,109
フリーキャッシュフロー	△ 9,682	8,400
財務活動によるC/F	7,197	△ 4,908
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,485	3,492
現金及び現金同等物の期末残高	15,659	19,151

営業活動によるC/F改善の内訳(前期比)

償却前経常利益の改善	+2,775
前期の大型投資消費税	+3,367
月末休日の影響	+3,064
前期に在庫増加	+2,489
その他	△160
合計	+11,535

- 営業CF オリジナル製品販売と合理化による利益確保
- 投資CF 収益基盤構築に向けた戦略投資を実施
- 財務CF 戦略投資の原資として借入金が増加
継続的に安定した配当の実施

《配当の推移》



2020年3月期 計画

決算計画概要 (2020年3月期 計画)

単位: 百万円	通期 実績		通期 計画				上期 計画			
	2019年3月期		2020年3月期				2020年3月期			
	実績	構成比	計画	構成比	増減	前年比	計画	構成比	増減	前年比
トレー	33,121	18.3	34,800	18.7	+1,678	105.1%	17,000	18.5	+937	105.8%
弁当・惣菜	101,108	55.8	103,660	55.7	+2,551	102.5%	51,330	55.8	+1,064	102.1%
小計	134,229	74.1	138,460	74.4	+4,230	103.2%	68,330	74.3	+2,002	103.0%
その他製品	3,350	1.8	3,340	1.8	△10	99.7%	1,670	1.8	+5	100.3%
製品売上高	137,579	75.9	141,800	76.2	+4,220	103.1%	70,000	76.1	+2,008	103.0%
包装資材	36,823	20.3	37,800	20.3	+976	102.7%	18,900	20.5	+201	101.1%
その他商品	6,768	3.7	6,400	3.4	△368	94.6%	3,100	3.4	+213	107.4%
商品売上高	43,592	24.1	44,200	23.8	+607	101.4%	22,000	23.9	+414	101.9%
売上高	181,171	100.0	186,000	100.0	+4,828	102.7%	92,000	100.0	+2,422	102.7%
営業利益	13,949	7.7	15,500	8.3	+1,550	111.1%	7,250	7.9	+1,089	117.7%
経常利益	14,861	8.2	16,000	8.6	+1,138	107.7%	7,400	8.0	+916	114.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	9,901	5.5	10,600	5.7	+698	107.1%	4,950	5.4	+604	113.9%

償却前経常利益

28,031

29,730

+1,698 106.1%

14,160

+1,170 109.0%

■ 販売

- 製品> ・電子レンジ対応製品、エコ製品の販売拡大
・宅配、冷凍、青果など新マーケットへの高機能製品提案

出荷枚数 : 前年比103%の伸長
トレー容器 : エコ製品を中心に販売拡大
弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱等の機能を備えたオリジナル製品に加え、魅力的な売り場づくりとバックヤードの効率化をサポートする新製品の提案

商品> マーチャンダイジング・物流・ITインフラを活用し、小規模小口顧客への販売強化

◇ 生産

- ・エコAPET原料の生産能力強化
- ・産業用ロボット導入による省人化

◇ 物流

- ・自社物流活用と積載効率改善によるコスト上昇抑制
- ・倉庫オペレーションの自動化

◇ ESG

- ・地上資源の循環および障がい者の雇用を推進

経常利益 利益増減 見通し (2020年3月期計画)

期初時点

単位：億円

上期	下期
----	----

2019年3月期 通期 148.6	
----------------------	--

上期 64.8	下期 83.8
---------	---------



2020年3月期 上期見通し 74.0	下期見通し 86.0
------------------------	------------

通期見通し 160.0

原料価格 +4.5

(上期 +2.5、下期 +2.0)

バージン 原料	+9.0
エコAPET原料	-2.0
副資材	-2.5

販売価格 +10.5

(上期 +10.5、下期 ±0.0)

販売活動 +7.0

(上期 +3.0、下期 +4.0)

生産 +2.5

(上期 +1.0、下期 +1.5)

物流 -6.0

(上期 -3.0、下期 -3.0)

グループ会社 +2.0

(上期 +0.5、下期 +1.5)

-1.5

改善効果	+11.4
人件費・労務費	-4.8
減価償却費	-4.1
電力料	+3.0
運送費	-7.0

経費増減 -9.1

(上期 -5.3、下期 -3.8)

人件費	-1.8
減価償却費	-1.5
その他	-5.8

合計 +11.4

(上期 +9.2、下期 +2.2)

設備投資・研究開発費 計画 (2020年3月期 計画)

	通期 実績	通期 計画			上期 計画		
	2019年3月期	2020年3月期			2020年3月期		
単位:百万円	実績	計画	増減	前年比	計画	増減	前年比
有形固定資産	13,442	17,700	+4,257	131.7%	6,600	+376	106.0%
無形固定資産	595	300	△295	50.4%	100	△107	48.2%
設備投資	14,038	18,000	+3,961	128.2%	6,700	+268	104.2%
減価償却費	13,170	13,730	+559	104.2%	6,760	+253	103.9%
研究開発費	1,159	1,310	+150	113.0%	640	+86	115.6%

【主な設備投資】

オリジナル製品への投資：エコAPET製品の生産能力・品質向上

- ◆ エコAPET原料 生産能力増強(関東・九州) 280
- ◆ エコAPET原料 生産性向上(関東・中部) 420
- ◆ エコAPET原料 ペレット化による品質向上(中部) 600
- ◆ エコAPET製品 シート押出・成形能力増強(下館・中部) 2,140

販売量拡大への投資：安定供給・効率改善・働く環境整備

- ◆ 自動化設備の導入
- ◆ 福山新配送センター 2020年 冬 完成予定 4,345
- ◆ 中部新配送センター 2021年 春 完成予定 5,285
- ◆ 福山独身寮・グループホーム 2020年 3月 完成予定 1,054
- ◆ 古河独身寮 2020年 3月 完成予定 611
- ◆ 金型 1,870
- ◆ IT投資 600

単位:百万円 投資総額 2020年3月期 計画

◇指標の推移

